

# 浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

「これで、いいのだ！」

みなさんは8月に亡くなった漫画家の赤塚不二夫さんをご存知ですよね。『おそ松くん』や『天才バカボン』のギャグ漫画で一世を風靡した方です。しかし、私はどうも好きではありませんでした。ふざけているような、読者を馬鹿にしているような感じがしたからです。亡くなってからテレビや雑誌などのメディアで、赤塚不二夫さんのことがいろいろ伝えられて、私は初めて彼の偉大さを少し分かったような気がしました。確かに彼の漫画はふざけていたのですが、『大真面目に』ふざけていたのです。彼のお嬢さんが小さいときに家でふざけていると、「もつと真面目にふざけなさい」と怒られたそうです。こんな親がいるのでしょうか。普通だったら「ふざけるんじゃないやありません」と怒られますよね。どんなことでも中途半端ではなく真面目に取り組む、このことが漫画家赤塚不二夫をここまで成功に導いたのではないのでしょうか。

彼の破天荒ぶりはいろいろあったようです。テントで公演をしていた劇作家・演出家の唐十郎さんとは飲み友達で、「もうテントがぼろぼろで」と言ったら、「じゃあ買ってあげるよ」と500人も入れるテントをポンと買ってくれたとか、田舎から出てきて場末の飲み屋でシヨウをしていたタモリを、「君は面白いから僕のところへ来なさい」と住むところまで提供して面倒を見たり。これだけ聞くと、どうせお金があり余っているんだから……と思ってしまう。確かにお金がないとこういうことはできませんよね。しかし、こんなこともあったのだそうです。



天才バカボンのパパなのだ

あるとき、漫画雑誌の若手編集者が、赤塚不二夫の漫画の原稿をなんとタクシーに置き忘れてしまいました。タクシー会社に問い合わせても出てきません。このままでは休載になってしまいます。青くなった編集

者は編集長とともに彼のところに謝りに行きました。普通だったら大事な原稿を失くされて、激怒するはずなのに、なんと彼は「もう一回描くよ」とあっさり言っ、すぐにアシスタントに電話をして、「明日早朝から仕事になったから頼むね」と言い、なんと「じゃ、いまから飲みに行こう」とその編集者と編集長を連れて、その晩は飲みに行ったのだそうです。そしてちゃんと次の日の早朝から仕事をして、連載に穴があくことはありませんでした。後日その置き忘れた原稿が出てきました。編集者は原稿を持ってお詫びに彼を訪ねて原稿をお返ししたそうです。彼は新旧の原稿を見比べて、「やつぱり2回目のほうがよく描けているなあ」と言い、「この原稿は戒めとして君が持つていなさい」と原稿を編集者にくださったそうです。その編集者さんは今でもその原稿を大切に持っているということなんです。

いかがですか？もし、たとえどんな原稿であつても、自分が書いてあげたものを失くされてしまったとき、また、他人が失敗して自分に迷惑がかかるとき、このような大らかな気持ちでいられるのでしょうか。いや、もし腹が立つたとしても、グツとこらえて態度に出さないでいることができるのでしょうか。赤塚さんの心の広さに胸を打たれると同時に、もし私とその立場だったらと考えたと

き、目下の担当者を怒鳴り散らしている自分が容易に想像できました。何事も自分中心、『我』にとらわれて、どうすることもできない自分の姿がそこにありました。

宗祖親鸞聖人は、我にとらわれた、煩惱だらけの私たちを『凡夫』と言われました。このままでは地獄行きの決定している私であるとお教えくださいました。しかし、お念仏に会い、阿弥陀如来の智慧の光に照らされることよって、凡夫の私が、山ほど煩惱を抱えたまま、覚りの世界に生まれていくことを恵まれるのです。

これで、いいのだ！

### 「報恩講のご案内」

日	10時〜	14時〜	19時〜
16日 (火)		大速夜 報恩講作法 法話二席	初夜 十二礼 御伝鈔拝読 法話一席
17日 (水)	ご満座 阿弥陀経作法 法話二席		

福井市教応寺住職  
本願寺布教使

奥田 順誓 師です。

報恩講は宗祖・親鸞聖人のご命日を中心に  
して行われる真宗最大かつ最も大切な仏事

です。お念仏に出遇わせていただいた聖人様のご恩に報いる大切な法縁ですので、毎年書いていますが、必ずお参りください。

今年は、福井市のご門徒の嶋田富美子さんが趣味で作られている人形展を同時開催いたします。ご主人（数学の先生で、私もお世話になりました）がお浄土に還られてから、始められました。お人形以外にも数々の創作をされ、県立美術館のシルバー展で2回も入賞されています。現在も森田公民館の『いきいきサロン』の手芸講師、児童館の『紙で遊ぼう』の講師など、精力的に活動されています。大正15年のお生まれです。やはりものづくりのご趣味は、元気の秘訣ですね！



嶋田富美子さんと作品の数々。お楽しみに！

### 『布教実習が開催されました』

前号でお知らせしましたとおり、去る6月25日に、本願寺住職課程の実習生と先生による布教実習が開催されました。おかげさまで満堂になり、実習生からも先生からも、たいへんありがたいご門徒様のお聴聞でありましたと感謝されましたことをお伝えしておきます。お参りいただいた皆さんには、「来てよかった」「ありがたかった」と喜んでいただき、寺としてもたいへんうれしく思います。ようこそそのお参りでございました。



住職課程専任講師である、福間義朝師の法話

それではみなさん、次回は報恩講でお会いしましょう。お念仏に遇わせていただくことをお互いに喜びましょうね。

合掌